

部長会議（定例会）報告書

令和6年7月4日(木)

3階第2会議室 9:00～

1. 事項

- ① 令和6年度桑名市災害対策本部チーム別災害対応訓練の実施について（防災・危機管理課）
 - ・今年度は南海トラフ地震を想定した訓練とする。これまでの訓練で得た教訓や職員アンケート、また直近の能登地震の教訓・知見を加えた内容で訓練を行う。

- ② 新・施設状況調査に基づく施設情報の整理について（グリーン資産創造課）
 - ・公共施設等総合管理計画の見直しに向けて、各施設の最新の基礎データを充実させる必要があるため、新・施設状況調査（Let's Map!）への協力をお願いする。
 - ・調査の結果を踏まえ、必要に応じてヒアリングを実施し、より適正な施設管理と予算措置を図っていく。

- ③ みんなの算定システムを活用した二酸化炭素の見える化について（グリーン資産創造課）
 - ・民間事業者と包括連携協定を締結し、市内の公共施設・事業者・家庭の二酸化炭素の排出量の見える化を進めている。
 - ・まだまだ基礎データが足りないので、市内在住の職員の参画（登録）をお願いする。

- ④ P Xの推進について（政策創造課）
 - ・人口減少等への課題には、これまでの行革の視点ではもはや対応できない。
 - ・そこで、P X（課題に合わせて市役所のサービスの形を変え、社会の変化に市役所をフィットさせていく）の視点で、変化する社会のニーズに対応していきたい。
 - ・政策創造課内にP X推進プラットフォームを設置。庁内関係課、専門家、連携する大学等の助言もいただきながら、いまの業務や仕組みを変えていきたいので、職員からの積極的な提案をお願いする。

- ⑤ 令和7年度予算編成に向けた実施計画等の作成について（政策創造課）
 - ・令和7年度の二次予算（政策的経費）は、重点施策の推進と公共施設マネジメントの両立を図る予算編成を目指す。
 - ・総合計画の推進、3本の柱、P Xの視点を意識した立案をお願いする。
 - ・例年1日で実施しているオータムレビューを2日間実施することとし、初日は既存事業の進捗状況や各所属の公共施設の現状と今後の方向性等について、市長・副市長からの聞き取りを中心に行い、事業進捗の加速と施設への政策的経費の投入についてメリハリをつけていきたい。

2. 報告事項

① 今年度からの災害対策本部員会議の運用方法について（防災・危機管理課）

- ・災害対策本部会議の運用について、原則として本部（会議室）への参集を基本とするが、参集できない職員は遠隔（zoom）による参加も可能とする運用に改める。

② 「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」への市の対応（防災・危機管理課）

- ・線状降水帯発生の呼びかけが、エリア単位（東海地方など）から県単位（三重県など）に改められることとなった。（津地方気象台）
- ・このため、三重県が対象地域となった場合は、線状降水帯の発生予測時間などを踏まえ、警報発表前であったとしても、明るい時間帯の自主避難の呼びかけや通行止めの実施などを検討していく。

③ 定額減税調整給付にかかる給付金窓口の職員応援について（人事課）

- ・国の定額減税・調整給付一体支援について、本市では調整給付を受ける方が約24,000人と見込んでいる。
- ・給付事務は、定額給付金室で対応するが、今後、対象者に案内通知を発送すると、問い合わせの電話等が殺到することが予想され、対応には税の知識が必要になる。
- ・このため、税務課経験者を応援というかたちで主に窓口・電話対応していただくこととしたので、各部局においてはご理解・ご協力をお願いする。

3. その他

① R5年度 決算成果報告書の注意点について（財政課）

- ・決算成果報告書について、定量的な記載に努めること、また市民へのアンケートや聞き取り内容を記載するなど、わかりやすい報告書づくりに努めていただきたい。